

平成23年度6月

厚生労働省平成23年度健康増進等の国庫補助金協議の結果について

当協会として応募しておりました平成23年度老人保健健康増進等事業ですが、次の2点が採択されましたのでお知らせします。

○事業名「施設・入居系サービスと住宅系サービスの機能分担に関する研究」

事業概要：介護療養型老人保健施設、老人保健施設、有料老人ホーム、特別養護老人ホーム、認知症GH、サービス付き高齢者住宅を対象に、①医療提供状況、②要介護度、③利用者の所得段階を明らかにする。高齢化が急速に進み新たな基盤整備が必要とされる保険者（三大都市圏）、既に基盤整備を終えている保険者（地方都市）に協力を求め、保険者単位で調査を実施し、サービスの整備状況と偏在状況を踏まえた分析を行う。平行して、③利用者の所得段階調査に基づき、建物整備費・介護報酬・居住費・補足給付・収支差額・借入金返済を用いた事業シミュレーションを行い、ユニット型事業者の安定経営と適切な利用者負担の両立が実現可能であるかを検証する。これらを通じて、中重度者向けの施設・入居系サービスと軽度者向けの住宅系サービスの質の向上、ならびに適切な機能分担について、とりまとめる。

○事業名「東日本大震災における高齢者施設の被災実態に関する調査研究」

事業概要：東日本大震災における高齢者施設の被害実態を建築・設備面および人的・ソフト的側面から明らかにすると同時に、被災時、避難時、さらには復旧時における具体的な対応とその中での課題を、時系列的な視点を踏まえてアンケート調査および現地視察を通して明らかにする。さらに被災地および被災施設に対して物的・人的支援を実施した法人の支援実態をヒアリング調査により明らかにする。以上の調査を通して、（1）震災がもたらした被災の実態を明らかにし、（2）ハード、ソフト両面の課題と災害を考慮に入れた施設計画および災害時対応の課題や知見を得ることで、災害時の高齢者施設事業継続計画（BCP）のあり方など提言も含めて、とりまとめる。

一般社団法人日本医療福祉建築協会事務局